

作成日：2017年4月24日

| | |
|------|---|
| 部門 | J S B 競技部会 |
| 会議名 | 都道府県社会人バスケットボール連盟設立部会長会議 |
| 開催日時 | 2017年4月22日(土) 13:30-16:30 |
| 開催場所 | J B A 会議室 |
| 出席者 | <p>都道府県社会人バスケットボール連盟設立部会代表者(別紙出席名簿参照)</p> <p>出席：44都道府県代表、 (欠席：事前に日程調整がつかず連絡があり欠席となった3県)</p> <p>(一社)日本社会人バスケットボール連盟 競技部委員 佐藤副会長、門川専務理事、山花理事、安保理事、小西事務局長 (競技委員会委員) 三澤委員、川武委員、杉浦委員、 (J B A) 吉田改革推進室 (敬称略)</p> |
| 内容 | <p>1. 受付(13:00~)</p> <p>(1) 旅費の精算(精算書の受領)</p> <p>会議次第に基づき部会長会議を開催</p> <p>2. 都道府県設立部会 部会長会議 挨拶・・・副会長 佐藤 昭</p> <p>(会議説明資料)・・・司会(小西事務局長)</p> <p>3. 日本社会人バスケットボール連盟について 各都道府県版 Vol.09</p> <p>(1) 日本社会人バスケットボール連盟について・・・門川専務理事 (2) 都道府県社会人バスケットボール連盟設立部会の設置について・・・門川専務理事 (3) 設立部会の作業内容・・・小西事務局長 (4) 各種大会の概要</p> <p>1) 地域リーグ・・・三澤競技委員 2) 都道府県リーグ・・・山花競技部長 3) 社会人レディース交流大会・・・杉浦競技委員、 4) 運営方法、登録、その他・・・山花競技部長</p> <p>(5) 地域リーグの参加チームの選考について・・・三澤競技委員 (6) 地域リーグの運営方法・・・三澤競技委員 (7) 競技者の登録について・・・山花競技部長 (8) 大会の認定・公認について・・・山花競技部長</p> <p>4. 質疑応答</p> <p>質疑応答については説明毎に時間を取ってご意見を伺った。</p> <p>① (神奈川県) チームヒヤリングの案内の時期?・・・会議終了後(来週以降) ② (大阪府) 男子のエンジョイ大会の開催は?・・・今後の課題にしたい。 ③ (愛知県) 情報の集約はどこ?・・・J S B と都道府県協会にて収集し共有する。</p> |

- ④ (宮城県) 組織図~担当者の分担が判りにくい・・・今回のご意見をもとに改訂版を発行するのでその中で改善していきたい。
- ⑤ (北海道) チームの説明方法・・・メール, HP等で行いたい。
未登録のチームの開拓・・・重要な課題であり今後お互いに検討をしていきたい。
- ⑥ (奈良県) 規約の必須事項の説明・・・表現を修正し再送する。
- ⑦ (京都府) 規約の作成・・・各都道府県が法人化しているのでその定款を見てほしい。
- ⑧ (佐賀県) 県リーグの実施状況把握は?・・・実施している県も多いと認識をしているが正確に実施しているか、すべては把握していない。
- ⑨ (茨城県) 地域リーグについては県下のチームに対して説明会が必要。J S Bが示している5/末は短い・・・全体スケジュールで決めているが地域によっては6/中 or 末になっても調整はしたい。
- ⑩ (熊本県) 地域リーグは少ない地域もあると思うが・・・参加チームの調査後検討をしていく。
- ⑪ (新潟県) レディース大会の県予選で優勝すれば交流大会に出場できるのか・・・原則できるので大会要項等で確認をしてください。
- ⑫ (沖縄県) 大会での出場選手に規程で全員が外国籍でも良いとなっているが制限は付けられないのか?・・・上位に繋がる大会に上位大会の規定もあるので制限はあるが都道府県リーグは従来のクラブ連盟の規定を踏襲している(現地の状況を加味し検討したい)。
- ⑬ (奈良県) マスターズの出場枠、要項を早く出せないか・・・直接J S Bがタッチしていないところでもあり難しいが、体協に話す機会があれば協力していきたい。
- ⑭ (静岡県) オーバーエイジの出場規定は・・・年齢で規定している
- ⑮ (大阪府) スケジュールを早くしないと会場確保が難しい・・・なるべく早く進めていきたい
- ⑯ (北海道) レディース交流会のコーチ登録をE 1にして欲しい・・・J B Aのコーチライセンス適用基準に合わせます。
- ⑰ (岡山県) オーバーエイジの出場方法・・・新しい登録システム上では、40歳以上50歳以上の区分がないため現状では同じチームで0-40、0-50の両方のカテゴリーに出場できる・・・今後さらに検討はしていきたい。
- ⑱ (大阪府) 現在の組織が解体となるため組織で持っているお金の扱いは・・・出来れば引き継ぐ団体へ持っていった方が良くと思うが特に取り決めはないので各々の団体に決めて欲しい。
- ⑲ (北海道) 大会開催時の費用負担について・・・事前に予算提出等を行い調整が必要。
- ⑳ (奈良県) ⑰と同じになるが、従来では2チーム登録が1チームになり良くない。
- ㉑ (茨城県) 移籍について・・・上位団体との規定の調整をする必要があり今後明確にしていく(規定化する)
- ㉒ (鳥取県) 資料p 33とp 31 オーバーエイジのスケジュール違っている・・・修正します。
- ㉓ (山梨県) 学連との関係でB, Cチームが社会人の大会に出場できるか?・・・従来と同様に社会人登録していただき出場できるまた移籍についても(上位チームに行くはOK)今後規定化する。
- ㉔ (宮城県) 地域によって学連は入れない・・・あくまでクラブ登録していただく事が原則になる・・・県リーグの範囲であれば可能。

様々なご意見をいただいた項目については、資料を訂正し再送付をいたしますのでご確認願います。

また、検討課題も多くありますが、さらに検討を重ね改善してまいりますので今後ともよろしくお願いたします。

| | | | | | |
|-----|--|-----|------|-----|---|
| | <p>5. 今後のスケジュール</p> <p>① 再度修正資料を送付いたします。</p> <p>② チームへの説明資料も今回の修正箇所を反映しまたは都道府県協会社会人設立部会長あてに送付後各チームへメールにて送付いたします (Team JBA システムを使用して)。</p> <p>③ 各チームの地域リーグへの参戦の希望を確認します (5月末から6月中旬)。</p> <p>④ 6月末には地域リーグのチームを確定したい。</p> <p>⑤ 配布資料14ページの記載している ブロック J S B までの担当者、委員を決めていきたい。</p> <p>⑥ 6月中旬 (チーム確定後) までに順次ブロック委員会を開催したい。</p> <p>⑦ ブロック委員会には J S B 競技委員も出席いたします。</p> | | | | |
| 作成日 | 2017年4月24日 | 作成者 | 小西道雄 | 承認者 | — |
| 備考 | | | | | |